

令和6年度(2024年度)
函館市社会学級活動のまとめ



函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

発 刊 に あ た っ て

函館市社会学級は、市民がよりよい家庭生活、社会生活を築き、教養と知識、技術等を学び合う成人教育の場として開設されてから78年目を迎えました。

今年度の社会学級は、市内の小中学校14学級において開設され、212名の学級生が全体講座で教養を高め、自らの資質の向上に取り組み、充実した学びを展開してきました。

このたび、令和6年度(2024年度)の各学級における学習活動等の成果を「社会学級活動のまとめ」として発刊することとなりました。

本書が今後の社会学級活動の充実と、学級生相互の理解を深められる資料として広く活用されることを期待いたします。

令和7年3月

函 館 市 教 育 委 員 会
函館市社会学級生連絡協議会

目 次

1	令和6年度函館市社会学級開設要項.....	1
2	社会学級開設校一覧	2
3	各学級の活動報告	3～21
	青柳小学校 …3 千代田小学校…4 本通小学校 …5 本通中学校…6	
	八幡小学校 …7 桔梗小学校 …8 北美原小学校…9 赤川小学校…10	
	中央小学校 …11 鍛神小学校 …12 東山小学校 …13 深堀小学校…14	
	日吉が丘小学校…15 旭岡小学校 …16	
4	ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）	17～18
5	見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）	19
6	函館市社会学級生連絡協議会	20～21
	(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員	
	(2) 活動報告	
	(3) 事業報告	
7	社会学級クラブ活動一覧	22
8	函館市社会学級生連絡協議会規約.....	23～24
9	社会学級のあゆみ	25～29

1 令和6年度 函館市社会学級開設要項

- 1 趣 旨 社会学級は、地域住民が自らの意思によって加入し、全体講座を通して主体的に学ぶことにより、教養と知識・技術等を学び合う成人教育の場として、教育委員会の求めに応じ、市立小・中学校長が開設し、社会学級開設校（以下「開設校」という。）と社会学級生連絡協議会が責任をもって運営を行う。
- 2 主 催 函館市教育委員会
- 3 開設期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- 4 開 設 校 市立小・中学校 14校
- 5 社会学級生 函館市内に住所を有する成人等（以下「学級生」という。）
- 6 社会学級の目標
 - （1）地域社会の一員として、地域づくり・学校支援等に協力する。
 - （2）全体講座を主として、学級生が協力し合いながら自己教育・相互教育となるような学習に取り組み、クラブ活動への参加のみに限定することがないように努める。
 - （3）全体講座の実施について、他の学級と合同で行うなど、開設校および社会学級主事が協力・工夫をし、社会学級の活性化につながる活動を展開する。
- 7 社会学級主事の設置と役割
 - （1）開設校に社会学級主事を置く。
 - （2）社会学級主事は、学校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。
 - （3）社会学級主事は、学級生とともに社会学級の運営を行い、必要に応じ学級生に対し、指導・助言を行う。
 - （4）社会学級主事は、教育委員会との連絡事務を行うとともに、活動について把握し、適切な内容であることを確認のうえ、講座実施報告書を教育委員会へ提出する。
 - （5）社会学級主事報償金は、年額10,000円とする。
- 8 学級運営上の留意点
 - （1）社会学級の運営については、学級生と社会学級主事が協力しながら自主的に行う。
 - （2）謝礼金を必要とする外部講師による講座を実施した場合は、1年度につき1学級ごとに1回5,000円を限度に教育委員会が負担する。
 - （3）講座の講師謝礼金は教育委員会において講座実施報告書を精査し、支払対象となる場合は、講師の指定する金融機関口座へ謝礼金を振り込むものとする。
- 9 そ の 他 家庭・社会生活の向上に寄与することを目的として、社会学級生連絡協議会を組織する。

2 社会学級開設校一覧

令和7年2月17日現在

ブロック		学 級 名	校 長 名	社会学級主事名	職 名	学 級 長	学級生数（人）		
							男	女	計
1 ブロック	1	青 柳 小 学 校	田 上 悟	松本 秀昭	教頭	野 澤 信 子	0	10	10
	2	千代田小学校	石川 朋実	三浦 将大	教頭	山 本 幸 子	0	11	11
	3	本 通 小 学 校	野口 達史	伊藤 圭	教頭	金澤 由美子	14	22	36
	4	本 通 中 学 校	小田桐 智	葛西 広治	教諭	坂井 恵	0	6	6
	5	八 幡 小 学 校	寺本 公彦	小林 郁	教頭	赤塚 留美子	2	8	10
	6	桔 梗 小 学 校	近江 辰仁	阿部 辰峰	教頭	金 澤 り さ	0	39	39
	7	北美原小学校	佐藤 豊	追田 浩章	教頭	松岡 日出男	3	6	9
2 ブロック	8	赤 川 小 学 校	川瀬 健	海野 優	教頭	坂 田 健 治	1	4	5
	9	中 央 小 学 校	西田 直	村上 兼人	教頭	原田 由紀子	1	10	11
	10	鍛 神 小 学 校	三上 泰司	庄司 浩	教頭	浅川 安公子	0	14	14
	11	東 山 小 学 校	永井 貴之	鈴木 健二	教頭	倉崎 由衣子	5	10	15
	12	深 堀 小 学 校	小濱 誠	保坂 大樹	教頭	多 田 成 敏	12	7	19
	13	日吉が丘小学校	中田 裕治	三井 陽平	教諭	長 浜 国 子	0	16	16
	14	旭 岡 小 学 校	高井 真浩	中森 豊	主幹教諭	安 藤 邦 雄	4	7	11
計							42	170	212

3 各学級の活動報告

青柳小学校社会学級（学級生 10 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	松本 秀昭	青柳小学校教頭・社会学級主事
2	6	「モルック」教室	実習実技	野澤 信子	社会学級生
3	7	第1ブロック交流活動 「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	北海道立函館美術館 学芸員
4	8	「北東アジアのシルクロード」 ～北方交易と蝦夷錦～ 鑑賞	鑑賞	大矢 京右	市立函館博物館 学芸員
5	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
6	10	出前講座「国民健康保険証・他」	講話	岡本 正 佐々木 愛	函館市市民部国保年金課 主査
7	11	行政相談研修	講話	竹田 幸代 星井 彩花	総務省函館行政監視 行政相談センター 課長・委員係長
8	12	和紙人形教室	実習実技	間山 容子	和紙人形教室 主宰
9	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○講座「モルック」教室

日 時：6月 6日（木） 10時30分～11時30分
場 所：青柳小学校 グラウンド 参加者：7名
概 要：今夏、函館にて世界大会が開催された、フィンランド発祥の「モルック」について体験しました。ルールはとても簡単な屋外競技ですが、土の上での競技は思うようにピンを倒せず四苦八苦しました。頭の体操にもなり、とても楽しく体験することができました。



○講座「企画展『北東アジアのシルクロード～北方交易と蝦夷錦～』見学」

日 時：8月29日（木） 10時00分～11時40分
場 所：市立函館博物館 参加者：7名
概 要：学芸員の大矢京右氏に、中国と蝦夷の交易について解説していただきました。蝦夷から送られた毛皮（特に「てん」の毛皮）がとても好まれたことに感銘を受けました。



○講座「和紙人形教室」

日 時：12月 5日（木） 10時00分～12時00分
場 所：青柳小学校 視聴覚室 参加者：7名
概 要：講師に間山容子氏を迎え、和紙人形作りを体験させていただきました。間山先生が特許を取得するに至った経緯（日本人学校勤務に伴う家族での海外生活）についてのお話に興味深く、時間が短く感じるほどでした。



<活動のまとめ>

今年は、上記の他に、出前講座「国民健康保険証他」や行政相談研修などを開講するなど、多様な活動を企画・実施することができました。次年度も、更に魅力ある講座を開設していきたいと思います。

千代田小学校社会学級（学級生 11 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	石川 朋実	千代田小学校長
2	5	護身術を学ぶ	講話	加藤 圭子	社会学級生
3	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
4	9	社会学級フェスティバル ソフトバレー交歓会	その他	—	
5	10	パークゴルフを楽しむ	野外活動	田口 順子	社会学級生
6	3	閉講式	その他		

【令和 6 年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「護身術を学ぶ」

日 時：5月29日（水） 15時00分～16時15分

場 所：千代田小学校 視聴覚室 参加者：7名

概 要： 突然人に襲われたりした場合の対処方法について説明を受けました。

一番大切な事は、常に隙を見せないように行動することです。

○ 社会学級フェスティバル「ソフトバレー交歓会」

日 時：9月30日（月） 9時00分～12時00分

場 所：函館アリーナ サブアリーナ 参加者：6名

概 要： 今年も鍛神小学校と合同で試合をしました。混合チームや学級対抗で試合をするなど、楽しい時間を過ごしました。もう少し、ソフトバレークラブのある学級が増えると嬉しいです。

○ 講座「パークゴルフを楽しむ」

日 時：10月16日（水）10時00分～12時00分

場 所：志海苔パークゴルフ場 参加者：5名

概 要： 2チームに分かれて、A・Bのコースをそれぞれ楽しみました。天気が良くて気持ちよくパークゴルフを楽しみました。

<活動のまとめ>

仕事を持っている学級生もいて、活動への参加者は年々減っていますが、次年度は、日程などを考慮して、学級生の親睦がより深まるような講座を企画したいと思います。

本通小学校社会学級（学級生 36 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	伊藤 圭	本通小学校教頭・社会学級主事
2	4	スポーツ教室	実習実技	金澤 由美子	社会学級生
3	6	大正から昭和にかけての移り代わり （北海道立函館美術館特別展 鑑賞）	鑑賞	—	
4	6	見学体験学習「避難訓練コンサート」	実習実技・鑑賞	—	
5	7	第1ブロック交流活動 「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	北海道立函館美術館 学芸員
6	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
7	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会（バドミントン）	その他	—	
8	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会（ミニバレー）	その他	—	
9	10	ズンバ体験	実習実技	山廣 恵美	ヨガインストラクター
10	3	スポーツ交流会	実習実技	—	
11	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「大正から昭和にかけての移り代わり（北海道立函館美術館特別展 鑑賞）」

日 時： 6月 7日（金）10時30分～11時30分

場 所： 北海道立函館美術館 参加者：10名

概 要： 大正から昭和の激動期同時代を生きた写真家、熊谷孝太郎氏と間世潜氏の写真を鑑賞しました。

西部方面の写真には、今でもよく見られる建物がこの時代に建てられていた事に驚きました。また、ソ連の貿易関係者等多数のロシア人が写し出されていました。昔の人達の服装がとてもおしゃれですてきでした。



○ 講座「ズンバ体験」

日 時： 10月19日（土）14時30分～15時30分

場 所： 本通小学校体育館 参加者：19名

概 要： リズミカルな音楽が流れる中、インストラクターの動きを真似て、必死についていきました。時々手や足がバラバラになる事もありましたが、みんな笑顔で大量の汗をかきながらも、楽しく踊ることができ、ストレス解消にもなりました。



<活動のまとめ>

今年も講座にたくさんの方々が出席できるように、日時を工夫して計画を立てました。次年度もより多くの方々に参加していただけるような企画を考えたいと思います。

本通中学校社会学級（学級生 6名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	小田桐 智	本通中学校長
2	6	映画鑑賞（函館の観光名所を学ぶ）	鑑賞	—	
3	7	ハーバリウム講座	実習実技	坂井 恵	社会学級生
4	7	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
5	10	布で作る柿	実習実技	山田 ひろみ	社会学級生
6	11	手作りパン教室	実習実技	日下部 優子	手作りパンの店 「コスモス」オーナー
7	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「ハーバリウム作り」

日 時：7月5日（金） 10時00分～13時00分

場 所：本通中学校 PTAルーム

参加者：5名

概 要： いろいろな形のビンに、ドライフラワー等とともに専用のオイルを入れる。きれいに浮き上がるように色を考えました。



○ 講座「パン作り」

日 時：11月15日（金） 10時00分～13時00分

場 所：手作りパンの店「こすもす」

参加者：6名

概 要： 6種類のパンの作り方を教わりました。
パン種のカットや具材を入れて焼き、持ち帰ったパンを
おいしくいただきました。



<活動のまとめ>

2年ぶりにパン作りを楽しみました。今年は、次年度の作品展に向けて出展する作品作りを頑張りました。少ない人数の学級でしたが、充実した活動ができました。

八幡小学校社会学級（学級生 10 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	小林 郁	八幡小学校教頭・社会学級主事
2	6	見学体験学習 「避難訓練コンサート」	実習実技・鑑賞	—	
3	7	第1ブロック交流活動 「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	北海道立函館美術館 学芸員
4	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
5	9	社会学級フェスティバル バドミントン交歓会	その他	—	
6	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 見学体験学習「避難訓練コンサート」

日 時：6月13日（木） 14時00分～15時30分

場 所：函館市芸術ホール 参加者：2名

概 要： 「もしもコンサート中に火災が発生したら？」という想定で、避難訓練し、その後、コンサートを鑑賞しました。実際には訓練のようにスムーズにはいかないと思いましたが、非常口の確認は必要と感じました。

○ 第1ブロック交流活動「『肉筆浮世絵の世界展』鑑賞」

日 時：7月25日（木） 10時00分～11時00分

場 所：北海道立函館美術館 参加者：3名

概 要： 肉筆浮世絵とは直接和紙や絹地などに描いたもので、オンリーワンの作品であり、とても貴重で高価であったとのこと。学芸員の説明を聞き、作品を見るポイントに注目しながら、鑑賞することができました。

○ 社会学級フェスティバル講演会「お天気から見える函館の特徴と良さについて」

日 時：9月 2日（月） 10時15分～11時15分

場 所：函館市民会館 小ホール 参加者：6名

概 要： 私たちの住む街が地形的に恵まれていて、海の幸が豊富であり、道内の他の都市と比べても、一年を通してとても暮らしやすいところだとわかりました。

<活動のまとめ>

今年も美術鑑賞会やスポーツ交流など、会員同士の親睦が深まるような講座を企画・実施しました。次年度も魅力のある講座を開設していきたいと思います。

桔梗小学校社会学級（学級生 39 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	—	
2	5	五稜郭公園散策	見学	三浦 由利子	はこだて検定合格者の会 街 DO「話術調所」ガイド
3	6	モルック	実習実技	柴谷 大介	日本モルック協会 認定指導員
4	7	ゆるトレーニング	実習実技	吉村 太郎	パーソナルトレーナー
5	7	第 1 ブロック交流活動 「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	北海道立函館美術館 学芸員
6	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
7	9	ちりめん細工のリース	実習実技	小林 裕美子	社会学級生
8	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会（ミニバレー）	その他	—	
9	10	社会学級フェスティバル 文化交歓会（音楽発表会）	その他	—	
10	11	そば打ち	実習実技	木下 松幸	ななえ手打ち蕎麦 愛好会 会長
11	3	閉講式	その他		

【令和 6 年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 鑑賞・見学等の講座

五稜郭公園散策（ガイド付き）、ブロック交流会にて美術館見学を行いました。函館市民にとっては大変身近な五稜郭公園ですが、タワー内の土方歳三の像は左右の見る方向によって表情が違ふことや石垣の文字、園内の詳しい説明など、いざ聞いてみると知らないことも多く、大変興味深かったです。



○ 実技系の講座

モルック、健康体操、手芸（ちりめん細工のリース）、そば打ちの講座を行いました。

函館で世界大会が開催されることから大きな話題となっていたモルックは室内で行い、屋外とは違う動きになりつつも、技術と戦略、素人ならではの運（！！）もあいまって、とても盛り上がりました。運動量が意外とあるのも発見でした。健康体操は、学級内でも進む高齢化に負けない身体をつくる、座っていてもできるストレッチ系の運動で、気持ちよく体を動かしました。

個性の光るちりめん細工のリースは、有志が桔梗町会の文化作品展にも参加しました。

学校の家庭科室をお借りして行ったそば打ちは、プロの技に目で、絶品の味に舌で楽しみました。



<活動のまとめ>

本年の活動は実技系が多く企画されました。コロナ禍を抜け、人と会い、集い、笑いあっておしゃべりができる、のびのびとした活動を求めているのかもしれませんが。物価高による材料費や講師料の値上がり、続く感染対策など悩みながら企画・運営してきた 1 年でした。今後も知恵をしぼり、学校とも協力しながら、魅力的な講座が行えればと思います。

北美原小学校社会学級（学級生 9名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	迫田 浩章	北美原小学校教頭 （社会学級主事）
2	6	見学体験学習 「避難訓練コンサート」	実習実技・ 鑑賞	—	
3	7	第1ブロック交流活動 「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	北海道立函館美術館 学芸員
4	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
5	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 見学体験学習「避難訓練コンサート」

日 時：6月13日（木） 14時00分～15時30分

場 所：函館市芸術ホール 参加者：2名

概 要： コンサート中に避難訓練を行うという型式で行った。避難するタイミングを察知して、誘導の指示に従って適切に避難することができた。その後、消防士の講評を聞き、避難訓練の重要性を理解した。その後、30分程度コンサートを観覧し、楽しむことができた。

○ 第1ブロック交流活動「『肉筆浮世絵の世界展』鑑賞」

日 時：7月25日（木） 10時00分～11時00分

場 所：北海道立函館美術館 参加者：4名

概 要： 江戸時代に生まれ、世界中で愛され続けている「浮世絵」。多色摺木版画に対して、今日は「肉筆浮世絵」で浮世絵師が絹本や和紙に直接描いた作品であった。葛飾北斎、安藤広重等、光ミュージアム所蔵の肉筆画111展を厳選展示しており、その迫力に目を奪われた。これらの鑑賞を通して、新しい世界を垣間見ることができた。

○ 社会学級フェスティバル講演会「お天気から見える函館の特徴と良さについて」

日 時：9月 2日（月） 10時15分～11時15分

場 所：函館市民会館 小ホール 参加者：2名

概 要： 函館の気候、風土の特徴について、「10月カラッとさわやかな空気」「雪解けは他の地域より早い」等、具体例をあげて説明していた。また、防災の立場から避難場所を事前に確認することや防災バックに入れる物を確認できた。更に、「日本で最初の気候測量所は函館だった。」等豆知識にも触れることができ、興味深く話を聞くことができた。講師が、多彩な経歴を生かし、聞きやすくわかりやすかった内容だった。

○ 社会学級フェスティバル「スポーツ交歓会（卓球）」

日 時：9月30日（月） 10時00分～12時00分

場 所：函館アリーナ サブアリーナ 参加者：2名

概 要： 昨年度の旭岡小学校に続き、中央小学校も加わって卓球の交流会を行い、試合形式の中、楽しく交流することができた。

<活動のまとめ>

今年も、卓球教室等の体力づくりを基本として、各種美術館等への鑑賞、天気に関する講座への参加を通して、会員の親睦を深めることができた。次年度魅力ある講座を開設して、会員との絆を深めたいと考えている。

赤川小学校社会学級（学級生 5名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	海野 優	赤川小学校教頭・社会学級主事
2	5	ヤクルト健康体操	講話	米坂 みゆき	
3	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署 生活安全課長
4	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
5	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「ヤクルト健康教室」

日 時：5月22日（水） 13時00分～14時30分

場 所：松陰町会館 参加者：4名

概 要： 消化管や腸内細菌と乳酸菌シロタ株や、模型を使いお腹の中の仕組みについて学びました。

○ 第2ブロック交流活動「特殊詐欺を未然に防ぐ」

日 時：9月30日（月） 14時00分～16時00分

場 所：亀田交流プラザ 講堂2 参加者：4名

概 要： 特殊詐欺の種類・特徴・手口について説明を聞いた。特殊詐欺には、色々な種類があり、手口も年々巧妙化しているので、怪しいと思ったら必ず、誰かに話すことが重要だと思いました。

<活動のまとめ>

本年度は、高齢化による学級生の減少があり、思うような活動ができなかったのが、次年度ではどのように学級生を増やすかが課題です。

講座としては、ヤクルト健康教室・ブロック交流活動・フェスティバル講演会・スポーツ交歓会など、他学級との交流や講師からのためになる話が聞けてとても良かったです。

次年度も、楽しく学べる講座を企画できればと思います。

中央小学校社会学級（学級生 11 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	村上 兼人	中央小学校教頭・社会学級主事
2	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
3	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
4	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会(卓球)	その他	—	
5	12	ペーパークイリング体験	実習実技	池田 華奈	
6	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「ペーパークイリング体験」

日 時：12月11日（水）15時00分～17時00分

場 所：中央小学校 会議室 参加者：8名

概 要：講師に池田氏を迎え、昨年に続いて全体講座を行いました。昨年は体調不良等で参加できなかった方が多かったのですが、今年度は多くの方が参加できました。参加者から「最初は細かくて出来上がるか心配でしたが、やってみると楽しくてあっという間の時間でした」という声が挙がるなど、楽しくとても充実した時間になりました。

初心者の方でも、かわいらしいクリスマスツリーや雪の結晶を作製することができたとともに、材料の入手方法や応用技術を講師に聞くなど、参加者の意欲が喚起されたようです。



【ペーパークイリングで冬を楽しむ】

○ 活動「スポーツ交流」

日 時：毎週水曜日 15時30分～

場 所：中央小学校 プレールーム（卓球）・
体育館（バドミントン）

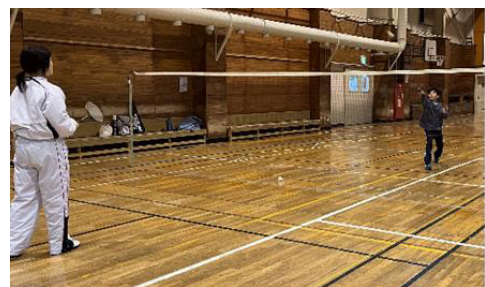
参加者：8名

概 要：今年度から卓球の愛好者が加わり、活動を知った地域の方々も新規に加わるなど、スポーツを通じた交流がとても盛んになりました。

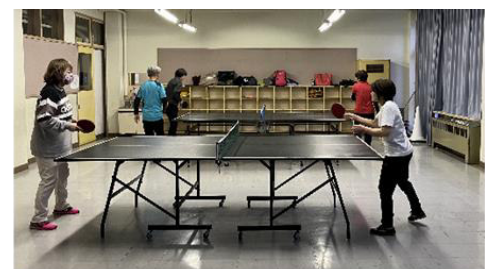
卓球では、ゲームを通してメンバーの技術の向上が見られ、和気あいあいとした雰囲気の中、毎回のスポーツ交流を楽しんでいます。

バドミントンでは、上級者に教えてもらったり、子どもを連れて参加したりする様子が見られました。楽しい活動の中にも、上達への目標をもって、真剣にスポーツに打ち込む姿も見られました。

今後も、地域の方々が「いつでも、どなたでも」参加できるスポーツ交流を展開していこうと考えています。



【バドミントンを楽しむ様子】



【卓球を通じた交流の様子】

<活動のまとめ>

卓球の交換会に参加し、他の学級とも交流を図ることができました。今後も、本学級での活動の様子を発信し、多くの学級生を迎えることができるよう取り組みます。

鍛神小学校社会学級（学級生 14 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	浅川 安公子	社会学級生
2	6	見学体験学習「避難訓練コンサート」	実習実技・鑑賞	—	
3	7	『平和への願い』をこめて千羽鶴づくり	奉仕活動	風間 美智子	社会学級生
4	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
5	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
6	9	「美を競う肉筆浮世絵の世界展」 鑑賞	鑑賞	—	
7	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会（ソフトバレー）	その他	—	
8	10	クラフトテープ手芸講座	実習実技	笠松 星子	クラフト手芸家
9	5	閉講式			

【令和6年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

○ 講座「平和への願いを込め千羽鶴づくり」

日 時：7月 8日（月） 14時00分～16時00分

場 所：鍛神小学校 図工室 参加者：5名

概 要： 「放課後子ども教室」の子ども達と社会学級ボランティア部と一緒に千羽鶴を折り函館市を通じ長崎平和式典へ届けていただいた。



○ 社会学級フェスティバル講演会「お天気から見える函館の特徴と良さについて」

日 時：9月 2日（月） 10時15分～11時15分

場 所：函館市民会館 小ホール 参加者：7名

概 要： 講師の丸山さんは、NHK函館放送局「ほっとニュース函館」に出演されている方であり、気象予報士と防災士の目線から、函館の気象の歴史、災害、防災を交えた、大きな学びのある講演会でした。

○ 社会学級生フェスティバル「スポーツ交歓会（ソフトバレー）」

日 時：9月30日（月） 9時00分～12時00分

場 所：函館アリーナ サブアリーナ 参加者：4名

概 要： 千代田小と鍛神小の2校で混合チームを作り、ソフトバレーの試合を実施した和やかに交流した。



○ 講座「クラフトテープ手芸講座」

日 時：10月21日（月） 9時15分～12時00分

会 場：亀田交流プラザ 小会議室4 参加者：11名

概 要： 笠松星子講師のご指導の下、悪戦苦闘しながらも何とか、時間内に完成をと真剣に取り組み、各々個性的な色合いのオリジナルの作品ができあがった。思ったより時間がかかり黙々と取り組んでいました。



＜活動のまとめ＞

今年度も、千羽鶴折り、見学体験学習、ブロック交流、社会学級講演会、スポーツ交歓会、クラフトテープ手提げかご作り講座と活発に楽しく活動できた1年でした。

東山小学校社会学級（学級生 15 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	鈴木 健二	東山小学校教頭・社会学級主事
2	6	見学体験学習 「避難訓練コンサート」	実習実技 ・鑑賞	—	
3	6	ズンバ体験	実習実技	山廣 恵美	ズンバインストラクター
4	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
5	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
6	9	社会学級フェスティバル バドミントン交歓会	その他	—	
7	3	閉講式			

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 見学体験学習「避難訓練コンサート」

日 時：6月13日（木） 13時30分～15時30分

会 場：函館市芸術ホール 参加者：4名

概 要： 避難訓練のはずなのに、すばらしい演奏と歌を楽しむことができました。芸術ホールでの中々できない経験ができ、忘れず覚えておきたいです。

○ 講座 「ズンバ体験」

日 時：6月29日（土） 13時00分～14時00分

会 場：東山小学校 体育館 参加者：9名

概 要： ZUMBAインストラクターを招き、脳トレ・ズンバを体験。音楽に合わせて講師の真似をするだけと言いながらも中々思うように手足が動かず、1時間で1,000キロカロリー消費すると言われていたダンスはとてもハードで筋肉痛の学級生が続出しました。

○ 第2ブロック交流活動「特殊詐欺を未然に防ぐ」

日 時：7月23日（火） 14時00分～16時00分

場 所：亀田交流プラザ 講堂2 参加者：5名

概 要： 警察の方のお話はリアリティがあり、わかりやすくゲーム形式にするなど、詐欺が身近であることを再確認でき、家族に伝えたいと思いました。

○ クラブ活動紹介「東山小学校社会学級バドミントン部」

部 員 数：15名（男5名・女10名） 練習場所：東山小学校 体育館

活 動 日：毎週水曜日15時～17時・土曜日13時～16時

活動内容： 年齢や経験を問わず、バドミントンを楽しみ、上達できるよう切磋琢磨しながら学級生との親睦を深めています。年1回の社会学級フェスティバル交歓会では、他校との交流を通じて、楽しい時間を過ごしています。

<活動のまとめ>

本年度は学級生も増え、沢山の活動ができました。年齢問わず仕事をしている人がほとんどですが、平日日中の活動にも協力的に参加してくれていました。どの講座や活動にも学びがあり、良い経験ができています。

大人になってから、同じ趣味を持つ友人ができることは楽しいだけでなく、活力や喜びにもなり、今後も続けていきたいです。

深堀小学校社会学級（学級生 19 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	保坂 大樹	深堀小学校教頭・社会学級主事
2	7	大森浜環境美化活動	奉仕活動	—	
3	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
4	8	海上自衛隊掃海母艦見学	見学	—	
5	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
6	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 奉仕活動 「大森浜環境美化活動」

日 時：7月 6日（土） 7時00分～ 8時00分

場 所：大森浜海岸 参加者：6名

概 要： 今年の夏も大森浜海岸清掃に参加しました。海岸に流れ着くゴミは少なくなっているようにも感じますが、広大な海岸にはプラスチックやロープなど掘り起こすことのできないゴミが多量に埋もれていると思います。

函館周辺の海岸にはイワシの大群が漂着するなど地球温暖化の影響も懸念されますが、「ゴミを減らし、海を汚さない」気持ちでこれからも活動が続けていく必要があると感じました。

○ 講座 「海上自衛隊掃海母艦見学」

日 時：8月 3日（土） 9時00分～11時00分

場 所：港町埠頭 参加者：5名

概 要： 函館に入港した掃海母艦「うらが」を見学しました。海に囲まれた日本港湾の安全と航路を守る掃海母艦の任務と重要性について乗員の自衛官に教えていただきました。同時に、艦の公開準備のために飛来した陸上自衛隊ヘリコプターの着艦時の様子も間近で見学しましたが、このような日本を守る最新の武器や装備が使われることのない平和な日々が長く続いてほしいと強く思います。

<活動のまとめ>

今年も奉仕活動、見学、各種講話や実習実技の全体講座を行うことができました。次年度もバランスのとれた学習方法で知識と親睦を高めながら皆が楽しめる講座を計画していきたいと思います。

日吉が丘小学校社会学級（学級生 16 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	中田 裕治	日吉が丘小学校長
2	5	「男性カルテット ボナミ・コンサート」鑑賞	鑑賞	—	
3	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
4	9	社会学級フェスティバル音楽発表会に向けた歌唱練習	実習実技	堀川 智美	音楽教室主宰・声楽家
5	10	社会学級フェスティバル 文化交歓会（音楽発表会）	その他	—	
6	3	閉講式	その他		

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 見学体験学習「避難訓練コンサート」

日 時：6月13日（木） 13:00～15:30

会 場：函館市芸術ホール 参加者：3名

概 要： 参加者3人にとって、初めての体験でした。素晴らしい音楽を聴きながらの避難訓練は現実味が倍増して、イザ!!という時の心構えを実感できました。
また次回があったら、学級生全員で参加し学習したいと思います。

○ 第2ブロック交流活動「特殊詐欺を未然に防ぐ」

日 時：7月23日（火） 13:00～17:00

場 所：函館市亀田交流プラザ 講堂2 参加者：10名

講 師：西警察署生活安全課長 沼田 紀子 氏

概 要： 実際に詐欺の被害に向き合っている方の話は臨場感があって真剣に聞き入り、身に付いた感がありました。色々な怖い手口があるので、一人で悩まずに、#9110を頼ることを学びました。

また、当学級は当番校として、この講座を企画しましたが、計37名の社会学級生が集まり、「自分やまわりのだれもが、悲しい思いや悔しい思いをしないようにしたい」「わかりやすく、しっかりと受け止めることができた」などの感想が寄せられました。

○社会学級フェスティバルの歌曲強化練習

日 時：6月9日（金）15:00～17:00

場 所：日吉が丘小学校 音楽室 参加者：13名

講 師：音楽教室主宰・声楽家 堀川 智美 氏

概 要： 正指揮者から受ける指導は全くの別の視点で、新鮮な気付きもあり、講座を通じて合唱に色彩が増してくるのを実感しました。

ステージの立ち姿、歩き方、表情、その全てが合唱である事に感動し、とても良い経験となりました。

旭岡小学校社会学級（学級生 11 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	高井 真浩	旭岡小学校長
2	5	「シャドウボックス&カルトナー ジュ作品展」鑑賞	鑑賞	—	
3	7	第2ブロック交流活動 「特殊詐欺を未然に防ぐ」	講話	沼田 紀子	函館西警察署生活安全課長
4	9	社会学級フェスティバル講演会 「お天気から見える函館の特徴・ 良さについて」	講話	丸山 将	気象予報士／防災士
5	9	「美を競う肉筆浮世絵の世界展」鑑賞	鑑賞	—	
6	9	社会学級フェスティバル スポーツ交歓会（卓球）	その他	—	
7	11	校庭周辺の落葉清掃	奉仕活動	—	
8	3	閉講式			

【令和6年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座 「『シャドウボックス&カルトナージュ作品展』鑑賞」

日 時：5月25日（土） 11時00分～11時45分

場 所：いしい画廊 参加者：7名

概 要： 普段見ることの少ないシャドウボックス（切り絵のようにカットし、何枚も貼り付け立体感を持たせた絵のような作品）の制作方法について説明を受け、季節の花々や風景の作品を鑑賞した。作品は実に繊細で素晴らしいものであった。

○ 第2ブロック交流活動「特殊詐欺を未然に防ぐ」

日 時：7月23日（火） 14時00分～15時00分

場 所：亀田交流プラザ 講堂2 参加者：4名

概 要： 函館西警察署の職員により最近の特殊詐欺について、いろいろな手口の詐欺の形態についてカードを使って学んだ。怪しい電話等があったら、家族や警察に相談をすることが先決である。

○ 社会学級フェスティバル「卓球交歓会」

日 時：9月30日（月） 9時00分～12時00分

場 所：函館アリーナ サブアリーナ 参加者：9名

概 要： 令和元年以来の卓球交歓会であり、参加校も3校で全体16名の参加のため各校混合により8組でリーグ戦により試合を行った。3時間余りで7試合を行ったため、少々疲れたが、心地よい汗を流した

○ 講座 「旭岡小学校周辺の落ち葉清掃」

日 時：11月23日（土） 12時40分～14時00分

場 所：旭岡小学校周辺 参加者：10名

概 要： 児童の登下校で使用する階段付近やプール周辺および隣接する側溝を中心に落ち葉やごみの清掃を実施した。寒風の中での短時間作業であったがきれいに清掃することができた。

<活動のまとめ>

旭岡小学校社会学級は令和5年度から卓球部のみで活動しており、学級生は殆どが70代以上ですが、皆元気に頑張っております。生涯学習として卓球を通じて今後の生活習慣を考え、少しでも健康寿命を延ばしていけたらと思っております。今後におきましても、学校、地域と関わりながら、健康に留意しつつ、魅力ある学級づくりに努めていきたいと思っております。

4 ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）

第1ブロック交流活動

○担当校：本通小学校社会学級

○ブロック交流活動推進委員：金澤 由美子

1 活動テーマ

「 美を競う肉筆浮世絵の世界展鑑賞 」

2 活動のねらい

- (1) 第1ブロック学級生の交流親睦と美術鑑賞への学び
- (2) 浮世絵師が絹本や和紙に直接描いた直筆が「肉筆浮世絵」である。一点物ならではの素晴らしさを学芸員の解説を受けながら鑑賞する。

3 活動計画

5月22日 美術館に学芸員の解説可能な鑑賞日程を問い合わせる。

6月28日 各学級へ案内文書を送付する。

7月18日 美術館と最終打ち合わせをし、7月25日に開催する。

4 活動学級名と参加者数

青柳小	6名	千代田小	2名	本通小	7名
本通中	1名	八幡小	3名	桔梗小	8名
北美原小	4名			計	31名

5 活動内容

- ・日 時：令和6年7月25日（木）
- ・場 所：道立函館美術館
- ・内 容：「美を競う肉筆浮世絵の世界展鑑賞」

6 参加者の感想

- ・ 学芸員からの解説を聞いてから鑑賞したことで、直筆の持つ素晴らしさがより伝わった。
- ・ 豪華な着物の文様や結髪の毛筋一本一本にいたるまで、精緻な筆致の素晴らしさに感激した。

7 まとめ

- ・ 学級生同士、交流しながら素晴らしい文化に触れる機会を得ることができて良かった。

第2ブロック交流活動

○担当校：日吉ヶ丘小学校社会学級

○ブロック交流活動推進委員：伊藤 満里子

1 活動テーマ

「 特殊詐欺を未然に防ぐ 」

2 活動のねらい

- (1) 実際に起きている特殊詐欺の現状について警察署の講義を受ける
- (2) 特殊詐欺の予防や起きた場合の対処の方法を学ぶ。

3 活動計画

- 5月 9日 函館西警察署に問い合わせる。
6月 7日 函館西警察署に特殊詐欺予防の講座依頼文を提出する。
7月22日 講座参加人数を知らせるとともに、最終打ち合わせを行う。
7月23日 講座 開催

4 活動学級名と参加者数

赤川小	3名	中央小	3名	鍛神小	7名
東山小	5名	深堀小	5名	日吉が丘小	10名
旭岡小	4名			計	37名

5 活動内容

- ・日 時： 令和6年7月23日（火）
- ・場 所： 函館市亀田交流プラザ講堂2
- ・内 容： 函館西警察署生活安全課長 沼田 紀子氏より「特殊詐欺を未然に防ぐ」をテーマに特殊詐欺の実態と防ぎ方を講話やゲームなどを通じて学んだ。

6 参加者の感想

- ・ 実際に詐欺の被害事件と向き合う警察署員からの講話は臨場感があった。
- ・ 自分や周りのだれもが悲しい思いや悔しい思いをしないように、自分事としてしっかりと受け止めた。

7 まとめ

- ・ 警察署員の講話から詐欺の様々な手口があることが分かりたためになった。
- ・ おかしいと思ったら、一人で行動せずに必ず誰かや警察に助けを求めたり相談する。

5 見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）

実行委員企画 見学体験学習 2024

○実行委員：会長 風間 美智子

1 活動テーマ

「函館市芸術ホール避難訓練コンサート もしもコンサート中に災害が発生したら!？」

2 活動のねらい

- (1) 演奏中に「火災」が発生した場合を想定した避難訓練に参加し集団での誘導や避難途中の注意点を学ぶ。
- (2) 他学級生と共に名曲鑑賞をしながらの火災避難訓練という貴重な体験をする。

3 活動計画

5月 7日 函館市芸術ホールへ内容、参加について問い合わせる。

5月20日 第1回連絡協議会にて提案し5月27日を締切とし、申込みを受ける。

5月28日 芸術ホールに35名で申込み、6月13日開催に参加する。

4 活動学級名と参加者数

青柳小	2名	千代田小	2名	本通小	9名
本通中	2名	八幡小	3名	鍛神小	4名
北美原小	2名	東山小	4名	旭岡小	3名
日吉が丘小	4名			計	35名

5 活動内容

- ・ 日 時：令和6年6月13日（木）
- ・ 場 所：函館市芸術ホール
- ・ 内 容：演奏会中の「火災」発生を想定した
観客も参加する避難訓練



6 参加者の感想

- ・ 演奏会中に火災発生、サイレンに驚きながらも職員の誘導で建物の外へ避難した。訓練時は煙もなく灯も有ったので避難経路はスムーズに移動できたが、暗闇であった場合を考えると困難を感じた。また、非常口の確認の大切さを再認識した。

7 まとめ

- ・ 貴重な体験であったが、演奏はとても素晴らしくどの曲にも感激した。
- ・ マリンバの市川先生から「演奏者は災害時も主催者から中止のサインを受けるまで演奏を止めない」と聞き驚いた。

6 函館市社会学級生連絡協議会

(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1 ブロック	2 ブロック
企画運営委員	・ 赤 塚 留美子【八幡小】 (副委員長) ・ 金 濱 ゆかり【本通小】 (会計)	・ 風 間 美智子【鍛神小】 (委員長) ・ 安 藤 邦 雄【旭岡小】 (副委員長) ・ 倉 崎 由衣子【東山小】 (会計)
会計監査	・ 金 澤 り さ【桔梗小】	・ 浅 川 安公子【鍛神小】
ブロック交流活動推進委員	・ 金 澤 由美子【本通小】	・ 伊 藤 満里子【日吉が丘小】

(2) 活動報告

連絡協議会の開催		
第 1 回	5 月 20 日 (月)	・ 前年度決算等の報告 ・ 今年度の運営方針・事業内容等の決定
第 2 回	7 月 8 日 (月)	・ 見学体験学習・ブロック交流活動について ・ 社会学級生フェスティバル等について協議
第 3 回	11月11日 (月)	・ 今年度事業実施状況の報告 ・ 「社会学級活動のまとめ」原稿作成について依頼 ・ 次年度の役員体制について協議
第 4 回	2 月 17 日 (月)	・ 2 月以降の講座実施報告書の提出について ・ 「社会学級活動のまとめ」作成について ・ 次年度の企画運営委員・ブロック交流活動推進委員について
監査会	3 月 17 日 (月)	・ 社会学級生連絡協議会の会計監査
企画運営委員会の開催		
第 1 回	5 月 15 日 (水)	今年度の役員の決定
第 2 回	6 月 17 日 (月)	第 2 回連絡協議会について協議
第 3 回	11月 7 日 (木)	第 3 回連絡協議会について協議
第 4 回	2 月 4 日 (火)	第 4 回連絡協議会について協議
第 5 回	3 月 17 日 (月)	次年度の活動計画等について協議

社会学級生フェスティバル実行委員会の開催			
第1回	7月8日（月）	全体会議・各部会協議	
第2回 (反省会)	11月11日（月）	各部会の開催・参加状況について	
ブロック交流会の開催			
ブロック	担当校	実施日	内容
1	本通小	7月23日（火）	テーマ：「肉筆浮世絵の世界展」鑑賞 会 場：北海道立函館美術館
2	日吉が丘小	7月25日（木）	テーマ：「特殊詐欺を未然に防ぐ」 会 場：亀田交流プラザ 講堂2
見学体験学習の開催			
実施日		内容	
6月13日（木）		テーマ：「函館市芸術ホール避難訓練コンサート もしもコンサート 中に災害が発生したら！？」 会 場：函館市芸術ホール	

(3) 事業報告

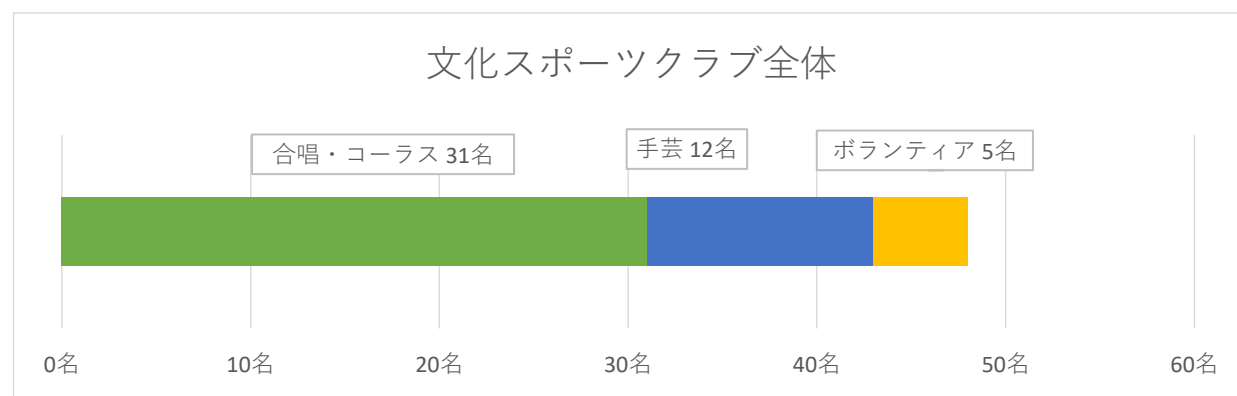
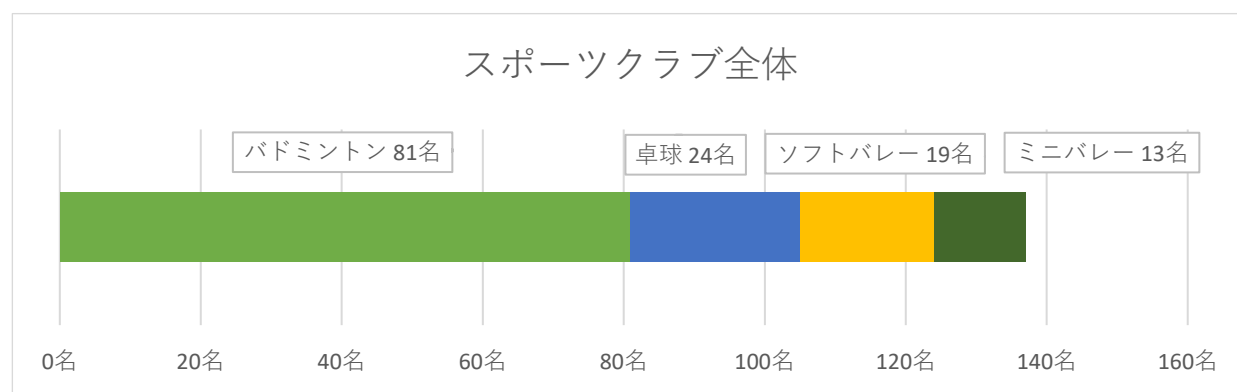
社会学級生フェスティバル

開 催 趣 旨	社会学級生の日頃の活動や成果等を発表し、交流を深めるとともに、広く市民に社会学級の取り組みを紹介し、参加を促すことを目的として開催する。		
開催内容・日時・会場・参加人数等			
開 会 式 ・ 講 演 会	9 月 2 日（月） 10:00～11:15	市民会館 小ホール	社会学級生 86 名 一般参加者 30 名
バドミントン交歓会	9 月 14 日（土） 13:00～16:30	サン・リフレ函館 アリーナ	4 学級（本通小、赤川小、東山小、深堀小） 45 名
ミニバレー交歓会	9 月 30 日（月） 10:00～12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2 学級（本通小、桔梗小） 11 名
ソフトバレー交歓会	9 月 30 日（月） 10:00～12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2 学級（千代田小、鍛神小） 10 名
卓球交歓会	9 月 30 日（月） 10:00～12:00	函館アリーナ サブアリーナ	3 学級（北美原小・中央小・旭岡小） 17 名
音楽発表会	10月25日（金） 14:00～15:00	亀田交流プラザ 講堂 1， 2	2 学級（桔梗小、日吉が丘小） 31 名（来場者 67 名）

7 社会学級クラブ活動一覧

令和6年10月1日時点

	クラブ名	学級名	人数	学級名	人数	学級名	人数
スポーツ	バドミントン 6学級 81名	本通小	32名	八幡小	10名	赤川小	5名
		中央小	4名	東山小	15名	深堀小	15名
	卓球 3学級 24名	北美原小	9名	中央小	4名	旭岡小	11名
	ソフトバレー 2学級 19名	千代田小	11名	鍛神小	8名		
	ミニバレー 2学級 13名	本通小	4名	桔梗小	9名		
	スポーツクラブ合計		137名	学級生全体に占める割合			66.2%
文化	合唱・コーラス 2学級 31名	桔梗小	15名	日吉が丘小	16名		
	手芸 2学級 12名	青柳小	6名	本通中	6名		
	ボランティア 1学級 5名	鍛神小	5名				
	文化クラブ合計		48名	学級生全体に占める割合			23.2%



8 函館市社会学級生連絡協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、函館市社会学級生連絡協議会と称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所を函館市教育委員会事務局内におく。

(目 的)

第3条 この会は社会学級の発展を図るため、情報交換等により社会学級の運営について研究し、あわせて家庭・社会生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 運営・活動状況の交換および研究資料の収集
- (2) 社会学級合同の講座交歓会、その他行事の開催
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、社会学級の代表2名以内の委員をもって組織する。

(役 員)

第6条 この会に次の役員をおく。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 企画運営委員 | ブロックから1名（うち書記2名、会計2名） |
| 会計監査 | 2名 |

(役員の選出)

第7条 役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 会長および副会長は原則として、前年度企画運営委員の中から、年度当初の例会において選出する。
- (2) 会長および副会長は、企画運営委員会の委員長および副委員長を兼務する。
- (3) 企画運営委員は、ブロックごとに1名を互選する。
- (4) 書記・会計は、企画運営委員の中から選出する。

(役員の任期および任務)

第8条 役員の任期は1年とし、再任をさまたげない。任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 企画運営委員は、企画運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- (4) 書記は、この会の書記を担当する。
- (5) 会計は、この会の会計を担当する。
- (6) 会計監査は、この会の会計を監査する。

(会 計)

第9条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会 議)

第10条 この会は次の会議を設ける。

- (1) 例会
- (2) 企画運営委員会

第11条 例会は、会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 役員の改選
- (3) 事業の計画の決定
- (4) 事業報告の承認
- (5) 収支予算の決定
- (6) 収支決算の承認
- (7) その他重要事項

2 例会は、年4回とし会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時は、臨時会を開催することができる。

第12条 企画運営委員会は、次の事項を決定する。

- (1) 例会の議決した事項の執行に関すること。
- (2) 例会に付議すべき事項に関すること。
- (3) その他例会の議決を要しない会務の執行に関すること。

2 企画運営委員会は、会長が必要と認めたとき、または企画運営委員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催することができる。

第13条 この規約は、年度当初の例会において変更することができる。

(相談者)

第14条 この会に相談者をおく。

教育委員会の職員と社会学級主事は、社会学級等の企画運営にあたって相談に応じる。

付 則

この規約は、昭和36年7月26日から施行する。
この規約は、昭和38年6月11日から施行する。
この規約は、昭和57年4月1日から施行する。
この規約は、昭和59年4月26日から施行する。
この規約は、平成元年4月27日から施行する。
この規約は、平成8年5月17日から施行する。
この規約は、平成12年5月10日から施行する。
この規約は、平成15年5月28日から施行する。
この規約は、平成18年5月16日から施行する。
この規約は、平成24年5月16日から施行する。
この規約は、平成25年5月15日から施行する。

※ 申し合わせ事項

- (1) 企画運営委員の選出にあたってはブロック内で特定の学級に偏らないよう配慮する。
- (2) 会長および副会長1名は、前年度の最終の企画運営委員会で内定し、次年度の第1回連絡協議会において報告し、承認を受ける。
- (3) 各種交歓会は希望学級の参加により開催するものとし、参加人数が足りず単独学級で参加出来ない場合は足りない学級と合同で参加することができる。

9 社会学級のあゆみ

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1945 (昭和20)	<社会学級の創出>	第二次世界大戦終戦
1946 (昭和21)		婦人教養施設「母親学級」の委嘱
1947 (昭和22)	若松小学校が社会学級を開設する (北海道庁の指定校となる)	文部省「父母と先生の会」設置に関する資料配付
1948 (昭和23)	常盤，八幡小学校が社会学級を開設する	社会学級開設委嘱の開始
1949 (昭和24)	若松，常盤小学校が文部省指定校となる	社会教育施行令公布，小中学校で社会学級が始まる
1952 (昭和27)	社会学級の学級数が小学校19，中学校5の24学級となる	
1953 (昭和28)	市川房枝氏を講師に，社会学級の合同講演会を開催する	
	<社会学級の整備>	
1954 (昭和29)	教育委員会が社会教育方針に「社会学級の発展助長」を挙げ，社会教育資料「各社会学級講座運営計画書」を紹介する 若松小学校が文部省指定校となる	
1955 (昭和30)		第1回日本母親大会が開かれる テレビが普及する
1960 (昭和35)	青柳小学校社会学級が文部省指定校となる	
	<社会学級の充実>	
1961 (昭和36)	函館市社会学級生連絡協議会が発足する (社会学級数33) 研修旅行を学習に取り入れる 全市合同社会学級レクリエーション大会を開催する 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	高校全員入学問題全国協議会が結成される
1962 (昭和37)	第1回社会学級生グループ作品展を丸井今井デパートで開催する 全市合同研修会を板東 義憲氏，渡辺 茂氏を講師に労働会館で開催する	家庭教育の振興策として国庫補助事業が始まる
1964 (昭和39)	常盤小学校社会学級が市研究指定校となる 道徳教育充実のため，学校教育との連携を重視する	

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1965 (昭和40)	社会学級の当面する諸問題について意見交換する	全国子供連合会の設立 中教審が「期待される人間像」 草案を発表する
1966 (昭和41)	家庭および地域環境の健全化と青少年指導の徹底に努める	
1967 (昭和42)	第1回社会学級生コーラス交歓会を開催する (社会学級数39/2, 352名) 社会学級の課題として「学級運営のあり方」を取り上げる	
1969 (昭和44)	第1回社会学級生スポーツ交歓会を開催する	
	<社会学級の充実発展>	
1971 (昭和46)		社会教育審議会が「急激な社会構造の変化に対応する社会教育のあり方」について答申する 「主婦の生きがい論」の思潮が起きる
1973 (昭和48)	「家庭教育の手引き」を発行する	オイルショックが起きる
1975 (昭和50)		国際婦人年
1976 (昭和51)	社会学級研究会を開催する(婦人の立場を見直しながら40代からの生きがいを考える・親と子のあり方, しつけを考える・子どもの生活環境と学習塾を考える・子どもの遊び, 自然との関わりを考える・子どもの進路指導を考える)	国連国際児童年に関する決議がされる
1978 (昭和53)	社会学級生と青少年問題委員との懇談会が開催される	
1981 (昭和56)	研究主題「主体的な活動を求めて」を掲げ, 社会学級の原点を見つめ直す	国際障害者年
1982 (昭和57)		女性による老人問題シンポジウムが開かれる
1986 (昭和61)	社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 人生観, 社会学級観, 学習意識等について)	教育改革に関する第二次答申
1987 (昭和62)	社会学級生グループ作品展の会場を市役所に移して開催する(社会学級数52/社会学級生数4, 169名)	教育課程審議会が「学校教育における生涯学習の基礎の育成について」が答申される
1988 (昭和63)		昭和63年教育白書に「生涯学習の新しい展開」が示される
1989 (平成元)	社会学級生グループ作品展の会場を丸井デパートに移して開催する	消費税導入(3%)

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1990 (平成2)	社会学級セミナーで「社会学級のあり方」を取り上げる 社会学級生グループ作品展の会場をテオー小笠原に移して開催する(16学級が出品)	
1991 (平成3)		中教審が「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」答申する
1992 (平成4)	スポーツ交歓会にミニバレーが加わる	第1回生涯学習フェスティバルが千葉市で開催される 学校週5日制実施
1993 (平成5)	スポーツ交歓会にソフトバレーが加わる	第1回家庭教育フォーラムが開かれる
1994 (平成6)		児童の権利条約が日本国内で発効される
1997 (平成9)	社会学級主事会が発足する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「共に学び豊かな心を」を作成する 社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 学級運営, 学習認識, クラブ活動, 人間関係について) 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	消費税が5%になる 北海道拓殖銀行が倒産
1998 (平成10)	スポーツ交歓会(ソフトテニス)の会場をサン・リフレ函館に, 音楽発表会の会場を芸術ホールに移して開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館の街なみと体験学習」を作成する	長野オリンピック開催
1999 (平成11)	初となる見学体験学習を実施する(青森市/90名) 初となるブロック交流活動を行う 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」を作成する	
2000 (平成12)	親子ふれあい体験学習を函館公園で実施する 「社会を明るくする運動」で法務大臣より感謝状を受ける 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだての伝説と昔話」を作成する	
2001 (平成13)	見学体験学習を実施(ニセコ/80名) 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館・歴史・時代」を作成する	
2002 (平成14)	見学体験学習を実施(江差/78名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだて港物語」を作成する	サッカーワールドカップが日韓で同時開催

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2003 (平成15)	見学体験学習を実施（渡島東部／45名） 社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館で開催	
2004 (平成16)	見学体験学習を実施（大沼公園／45名） 社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館で開催 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」の一部見直しを行う 社会学級の現状把握のためのアンケート調査を実施する	駒大苫小牧高校が北海道勢として史上初の甲子園優勝 新潟県中越沖地震発生 道内の自治体で初の市町村合併，函館市・戸井町・南茅部町・恵山町・椴法華町の1市3町1村が合併，函館市となる
2005 (平成17)	見学体験学習を実施（三内丸山遺跡／27名） 市民体育館工事のため，社会学級生フェスティバルを芸術ホール，青年センター，小学校体育館，サン・リフレ函館で開催 西部地区で一般市民向けの社会学級体験講座を初めて実施する（高盛小／10名）	愛知万博開催 兵庫県尼崎市でＪＲ福知山線脱線事故が発生 駒大苫小牧高校が甲子園連覇
2006 (平成18)	見学体験学習を実施（江差／45名） 社会学級60周年記念，社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プール，サン・リフレで開催 社会学級開設60周年記念祝賀会をホテルオークランドで開催（76名）	トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで日本人初の金メダル獲得 教育基本法改正
2007 (平成19)	見学体験学習を実施（八雲／52名） 社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館で開催	中空土偶が北海道初の国宝に指定される
2008 (平成20)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（知内／48名）	
2009 (平成21)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（旧4町村／46名） 社会学級あゆみ展を中央図書館で開催する	函館開港150周年
2010 (平成22)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（森／52名）	根岸英一教授と鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞
2011 (平成23)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（縄文文化交流センター／73名）	東日本大震災発生
2012 (平成24)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（市内西部地区／50名）	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞
2013 (平成25)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（市電乗車体験・見学／39名）	2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定 富士山が世界文化遺産に決定

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2014 (平成26)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（市内・七飯町／44名）	消費税が8％になる 五稜郭築造150周年
2015 (平成27)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，函館アリーナ，市民プールで開催 見学体験学習を実施（恵山・榎法華／26名）	函館アリーナ供用開始 大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を，梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞
2016 (平成28)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，亀田福祉センター，函館アリーナ，市民プール，サン・リフレ函館，遺愛女子高校で開催 見学体験学習を実施（七飯／45名）	北海道新幹線開業 初のフルマラソンとハーフマラソンを併せ，函館マラソン開催 リオデジャネイロ・パラリンピックで辻沙絵選手と池崎大輔選手がそれぞれ銅メダルを獲得
2017 (平成29)	社会学級生フェスティバルを市民会館，サン・リフレ函館，函館アリーナ，芸術ホールで開催	
2018 (平成30)	社会学級生フェスティバルを函館アリーナ，芸術ホール，駒場小学校体育館で開催する	北海道命名150周年 北海道胆振東部地震発生
2019 (令和元)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／74名，ロープウェイ／44名） 社会学級生フェスティバルを函館競輪場テレシアター，函館アリーナ，芸術ホール，旭岡小学校体育館，函館サン・リフレで開催する 新型コロナウイルス感染症予防のため，全ての社会学級活動を停止（2月25日～3月31日）	新元号「令和」施行 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定 消費税が10％になる 新型コロナウイルス感染症が発生
2020 (令和2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会学級を1年間休止	亀田交流プラザ供用開始 全都道府県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令
2021 (令和3)	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により，5月18日～6月20日および8月28日～9月30日の期間，社会学級活動を休止	「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録 1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催 パラリンピックで池崎大輔選手が銅メダルを獲得
2022 (令和4)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／48名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	民法改正により成年年齢が20歳から18歳へ引き下げ 函館市市制施行100周年記念式典挙行
2023 (令和5)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／35名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行 全国高等学校総合体育大会が36年ぶりに北海道で開催（函館：ハンドボール，自転車競技）
2024 (令和6)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／35名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	能登半島地震発生 日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞